

学務系職員養成プログラム研修

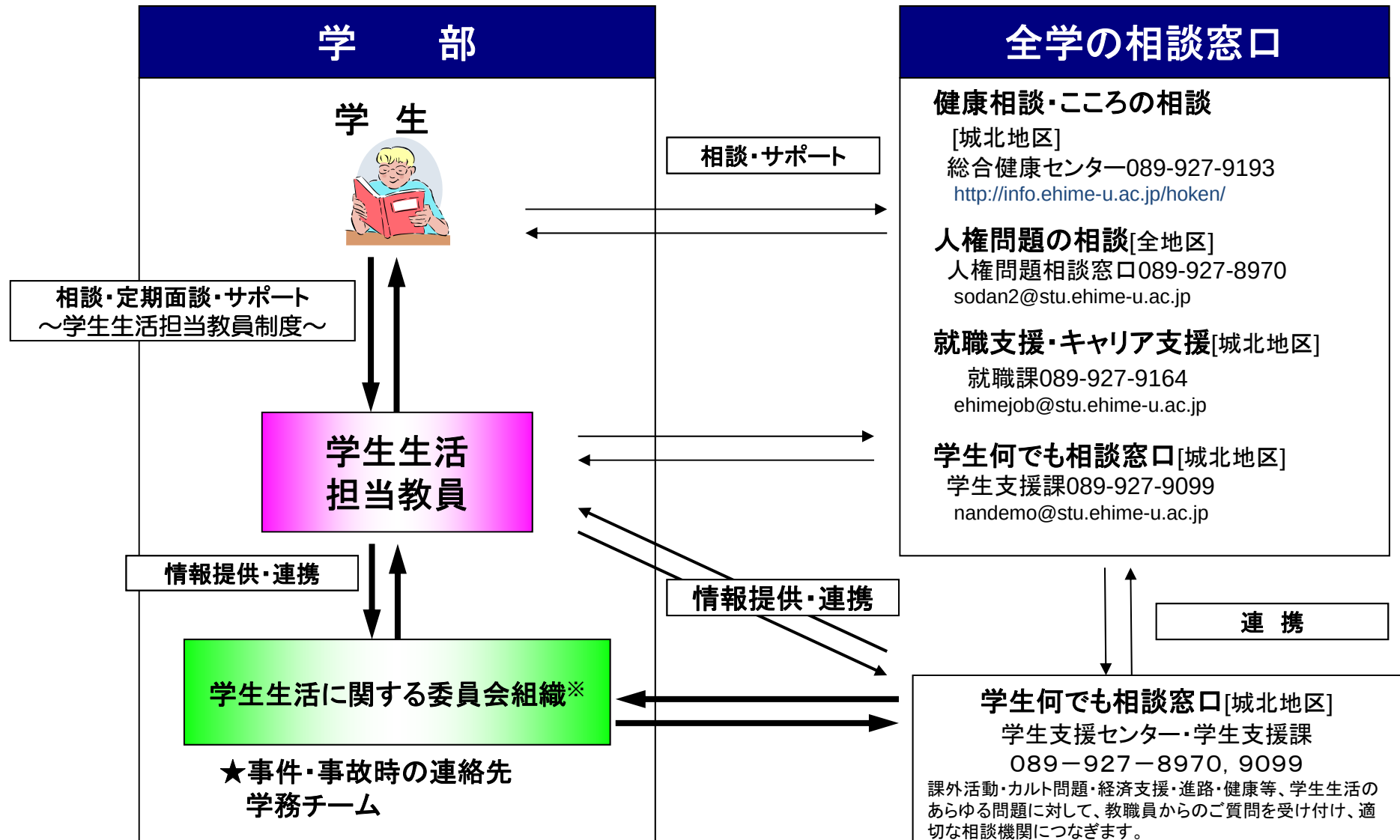
学生相談入門

愛媛大学教育・学生支援機構
学生支援センター副センター長/教授
野本 ひさ



平成23年7月19日

愛媛大学における学生生活支援の体制

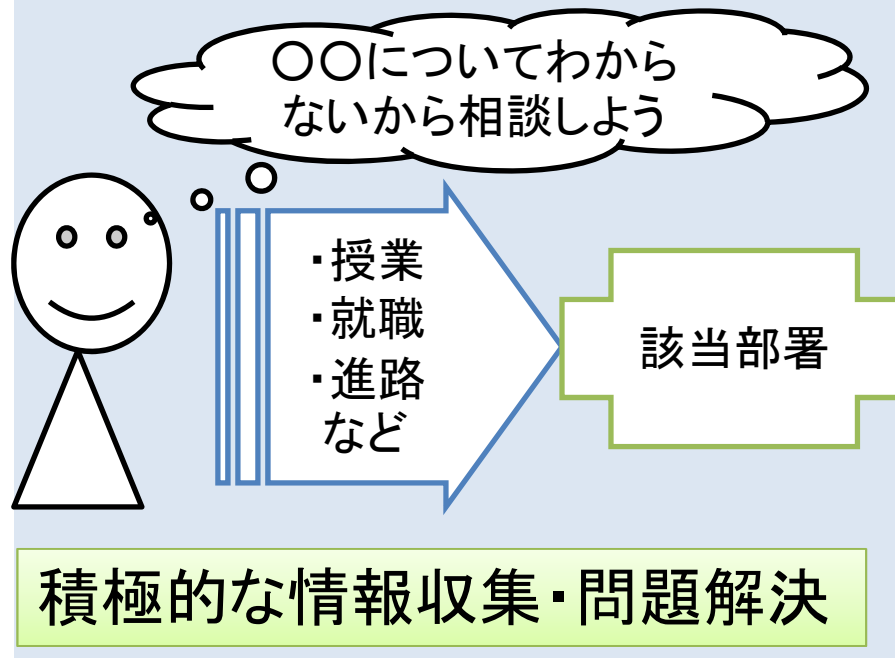


※学部によって名称・役割が異なります。

学生相談の2層

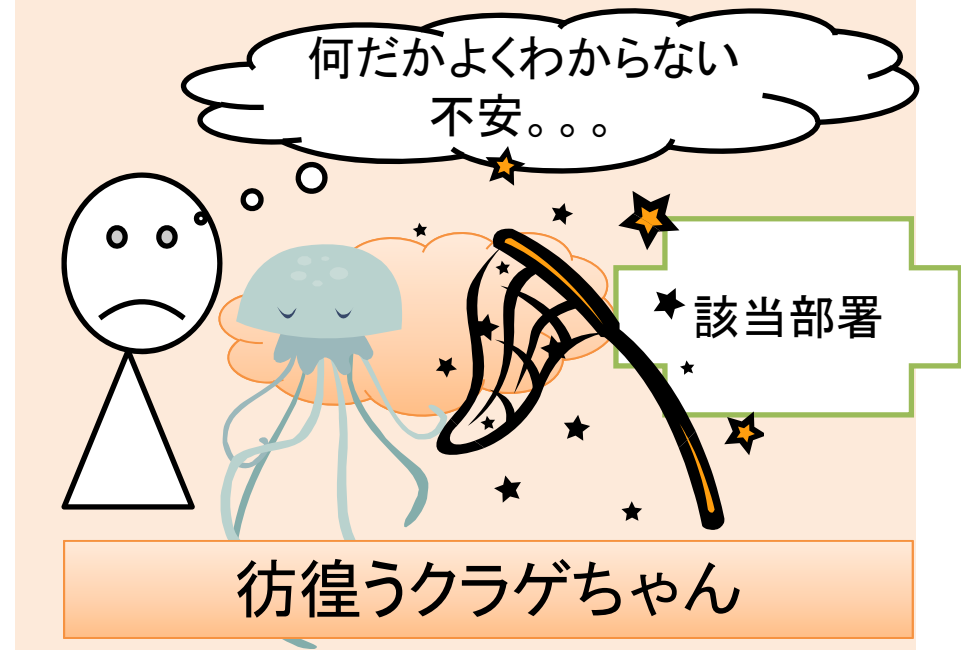
①自主的な相談

- 学生が自ら相談に来る例



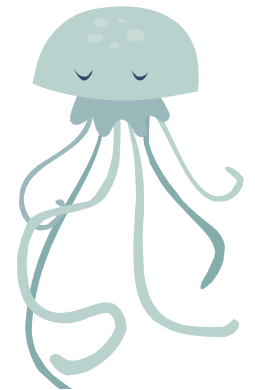
②結果的な相談

- 何だかよくわからないが、結果的には相談になっている例



ファースト・コンタクト

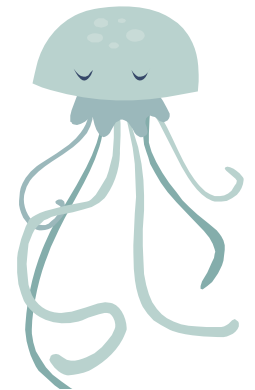
- ① 相談窓口で「グルーミーが怖いんです。」
- ② 「ガールフレンドが学校に来ない。」
- ③ 授業料未納のため保護者に連絡すると「こんな学校に授業料を払えますか？」といきなり怒られる。
- ④ 履修登録に不備があるため呼び出した学生が一言もしゃべらない。



ファースト・コンタクト

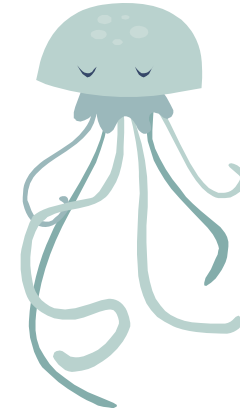
- ① 一言もしゃべらないA君
- ② 「トイレに行きたくなることを先生に言って下さい。」Bさん、C君

愛媛大学学生相談事例集(2013)相談事例より



介入時期・方法の判断

- 介入時期は早いほうがいいが、過保護、過干渉、過管理にならないことも重要。
- 問題の大小にもより看過してよいかどうかを判断する。例えば現在の状況と修学年限との関係を考えて保護者への連絡時期を決めるなど。
- 本人の状況、学担との相性、発生した問題を解決するのに適した人・資源の判断が必要。



大学生のメンタル・ヘルス

学生対応アルアル・ミステイク

- 額面通りにとってはいけない
- 対応は同じでも問題の大小はちがう

チェックリスト

- ひとりで解決できるか？
- 相談・報告するとしたら誰か？
- この問題を解決するために必要な資源は何か？
- 問題の解決を困難にしている要因は何か？
- この問題はこれで解決したか？
- この問題によって、自分は何を学んだか？
- この問題によって、今後何を学べば良いか？

大学生とその周辺

社会の複雑化に対応できる学生づくり

他部署との連携が必要な相談

- ① 離婚した父親に住所を知らせないでほしい。
- ② 担当の学生が授業にあまり出席しない状況が続いている。母親も心配して連絡してきた。学内でサポートしてくれる部署はないか？
(教員からの相談)
- ③ 4月から新入生になる息子が発達障がいをかかえているのであらかじめ大学に相談したい(母親からの相談)

社会の複雑化・多様化に伴う新しい相談

- ① カルト団体のような怪しい団体から勧誘され、断りきれずに名前を書いてしまった。
- ② アルバイト先で知り合った本学の学生に300万の指輪を預けた。返してほしい。
- ③ マンションのゴミ分別がされていないまま投棄されていたので分別していたら「〇〇」の授業資料(大学の授業らしい題)が出てきた。人に迷惑をかけないように該当者を調べて注意してほしい。

事件・事故の予防につながる相談

- フェリー船上で知り合った人から色々な理由で金を無心され、総額70万円に及ぶ被害を受けた。
 - 「財布を落として困っている。すぐに返すので私の講座に振り込んでほしい」と連絡があり3万円を振り込んだ。その後「おかねを返しに行くので〇時に大阪港で待っていてほしい」と言われ現地で待っていたら、「交通事故を起こして今日に行くことができなくなった」と連絡があった。学生は松山の住所へお金を送って下さいと住所を教えた。

保護者に対するお知らせ

- 入学予定者へのお知らせ（消費者被害やカルト団体の勧誘への注意）
- 各学部後援会でのセミナー開催（今日的問題について等）
- 広報誌やホームページ（相談先を明示）
- 保護者懇談会（学部）
- 保護者面談（必要時）

問題の整理

- 入口の問題
- 出口の問題
- 大学生活の問題
- 家庭教育の問題
- 社会の問題

など

目の前にいる学生を理解して下さい！



関わり方のコツ

1. カウンセリング・相談・リスニング
2. 共感的コミュニケーション
3. ブロッキング
4. 自分を知る

カウンセリング・相談・リスニング

- カウンセリング：相手の隠れた気持ちや本当の欲求、未解決な感情への気づきを促す治療的関わり
 - 相談（コンサルティング）：アドバイスすること
- カウンセリング的関わりと相談的関わりを意識的に使い分ける
- リスナー：「わかってもらえた」と思えるように上手に相手の気持ちを聴ける人
 - リスニング：事柄ではなく気持ちや感情を聴くこと

「あれ？」と感じたときには

共感的コミュニケーション

- 相手の気持ちを自分の中につくる
- 気持ちの共有
- 「わかってもらえた」という安心感・信頼
- 同情・同感（自分の気持ちが中心）とは違う

「どんな気持ちがあるの？」



コミュニケーションを妨げるブロッキング

- 「わかるわかる、自分もそんな体験をしたことがある」という**追体験**
- すぐに**意見**や**ガイダンス**をしたくなる相談員
- 自分の知りたいことを質問したくなる**好奇心**
- 「要するにこういうことですね」という**自分の枠組みでの整理**
- その他、**誘導**、**解釈**、**シナリオ**、**時間が気になる**、**別のことを考える**など

良いリスナーとは、自分のブロッキングを脇において聴ける人

自分の気持ちを知る

1. 相手に期待してよいこと
2. 相手に期待してはならないこと
3. 自分が自分に期待しなくてはならないこと

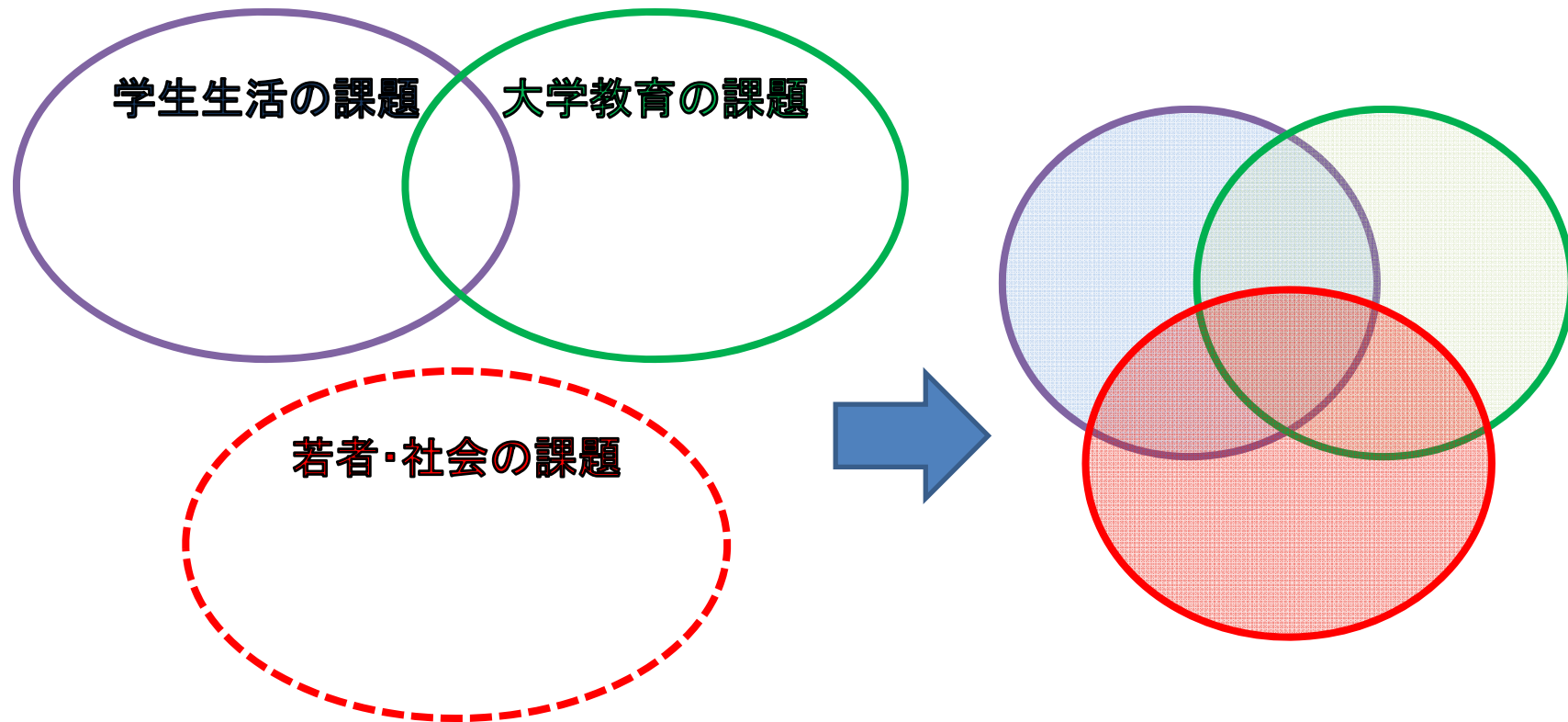
まとめ

- 学生を大人として扱うべきだ
→ 学生が大人になるように育てる
- 学生の特徴をよく知る：多様な学生
- 初年次の支援（見守り）は重要
- 学生支援のための資源を有効に活用する
- 担当部署や保護者との連携：連携部署の構築
- 専門的な支援方法の確立

多様な学生支援の相

1. 学生生活を支える「学生支援」
2. 学業を支える「学生支援」
3. 学生の**人間的成長**や大学の**社会的使命**を支える「学生支援」

大学がどこまで学生を支援するか？



大学は“次代を担う若者”を育てる教育機関である